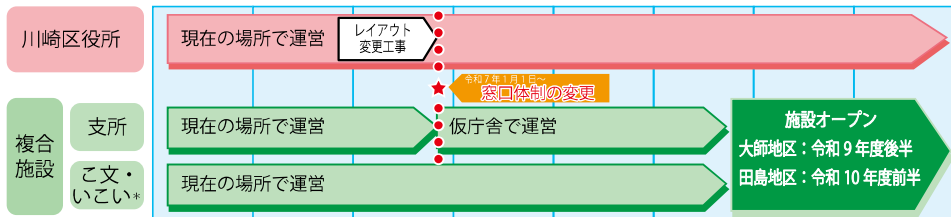


今後のスケジュール

川崎区役所と支所の窓口体制の変更は令和7年1月1日、複合施設の利用開始時期は、大師地区は令和9年度後半、田島地区は令和10年度前半を予定しています。

令和4年度(2022) 令和5年度(2023) 令和6年度(2024) 令和7年度(2025) 令和8年度(2026) 令和9年度(2027) 令和10年度(2028) 令和11年度(2029)以降



*こ文: こども文化センター いこい: 老人いこいの家

Q&A よくあるご質問にお答えします

Q1 川崎区役所と支所の窓口はどうなるの？

A1 川崎区における様々な状況の変化や困難な課題に的確に対応するために、支所・地区健康福祉ステーションの申請・届出窓口を川崎区役所に統合します。支所で継続する業務は、①地域振興等業務 ②防災・交通安全・防犯 ③一部の相談業務 ④証明書発行業務 ⑤統計業務、期日前投票所などです。

Q2 新しい複合施設は何階になるの？

A2 建物の階数は、敷地形状や施設規模から、2階建てまたは3階建てとなります。新しい施設は、使いやすく効率のよい建物にするため、事業者から施設計画の提案を受けることとしています。(整備は設計・建設・維持管理を一括発注し、運営は指定管理者制度を導入します。)

Q3 工事中の支所はどうなるの？

A3 川崎区役所と支所の窓口変更に合わせて、令和7年1月6日(月)から仮庁舎で業務を開始します。仮庁舎の場所は、大師支所は大師分室敷地、田島支所は田島こども文化センター等敷地です。

Q4 新しい複合施設は休みの日や夜は使えるの？

A4 複合施設は平日、土日・祝日も開館し、9時から21時まで利用できます。支所の窓口業務は、これまで通り平日8時30分から17時までです。

Q5 複合施設って名称は分かりづらいから、他の名称にしないの？

A5 地域に親しまれる施設となるよう、愛称を地域のみなさんと考えていきます。

お問合せ ■窓口の変更について
川崎区役所まちづくり推進部総務課
電話 044-201-1878

■複合施設の整備について
川崎市市民文化局コミュニティ推進部区政推進課
電話 044-200-2023

ホームページで取組を紹介しています！
ニュースレターのバックナンバーはこちらから



地域のみなさんと一緒に新しい支所を考えるニュースレター

川崎区支所 TIMES



令和7年1月1日から、区役所と支所の窓口を変更します

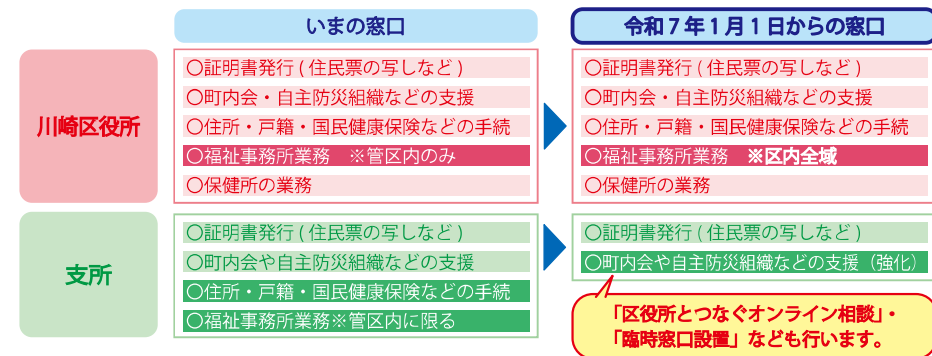
現在、支所で取り扱っている窓口は、一部を除き、令和7年1月1日に川崎区役所に統合します。川崎区役所・大師支所・田島支所の3つの管区に分散している体制を見直して、福祉や医療の専門職による多職種連携体制を強化して、行政サービスの質・量の向上を図っていきます。

新しい「川崎区役所」は

現在は、区内でも住んでいる場所によっては、区役所でできない手続がありますが、窓口体制変更後の区役所では、区内のどこに住んでいても原則全ての手続ができるようにします。

新しい「大師支所・田島支所」は

町内会や自主防災組織などの支援、社会福祉団体の事務、地域防災機能の提供など「地域に密着した取組」を強化します。また、利用者の多い住民票の写し・戸籍事項証明・印鑑登録証明書など「証明書発行業務」を継続します。



支所を複合施設として建て替え、「地域の身近な拠点」をつくります 大師・田島こども文化センター・いこいの家が複合施設内に移転します(令和9~10年度)

支所は、古くから地区住民に親しまれる身近な地域拠点です。新しい施設も、地域の方々同士で行った意見交換会で生まれた「未知との出会いにオープンなまち」をめざし、地域の方々が集い、交流するシンボルとなり、手続が必要な方だけ、子どもだけ、高齢者だけでなく、今まで以上に利用していただける施設をめざし整備の取組を進めます。

複合施設整備・運営の5つの基本方針

- ①地域に親しまれ、誰もが気軽に立ち寄りとなる「地域のシンボルとなる拠点」
- ②普段も、いざという時も頼りになる安全安心な「暮らしの拠点」
- ③子どもが健やかに成長できる、誰もが元気でいられる「笑顔の拠点」
- ④交流や学びから、新たな価値が生まれる「つながりの拠点」
- ⑤世代を超えて継承される「地域で受け継がれる拠点」

新しい複合施設の整備や運営は「整備・運営基本計画」に基づき取組を進めていきます。

詳しくはこちら



大師地区・田島地区の新しい拠点をデザインしよう！ 意見交換会を開催しました

大師支所・田島支所は、こども文化センター、老人いこいの家と複合化し、新しい地域の拠点として生まれ変わります。

整備・運営基本計画に基づき建物の設計を進めていくにあたって地域のみなさんの意見を取り入れるため、意見交換会を開催しました。

計41名の参加者が、6つのグループ*に分かれ、全3回のワークショップで、新しい拠点の使い方や機能のつながりについて話し合い、施設のイメージを平面図にまとめました。 *1グループは市役所職員で構成

整備する主な部屋（整備・運営基本計画より）

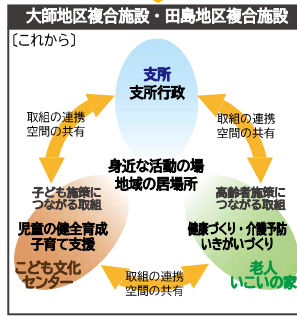
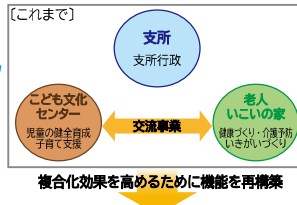
支所行政機能提供スペース

- ・証明書発行窓口・待合
- ・執務室
- ・会議室
- ・期日前投票、地域活動等にも利用
- ・備蓄倉庫
- ・相談室
- ・プライバシーに配慮

市民利用機能提供スペース

- ・動的活動スペース（運動等）
バドミントン、卓球、ダンスなどに利用
- ・動的活動スペース（音楽等）
楽器演奏、合唱、演奏発表会などに利用
- ・静的活動スペース
学習の場、生花、書道などに利用

- ・まちのリビング
（地域の活動や交流を促進する多目的スペース）
キッチン設備があり、図書スペース、市民活動コーナー、様々な活動や休憩、飲食などにも利用



第3回 10月22日（土）新しい拠点の「かたち」を考えよう！

1回目・2回目のワークを踏まえて、新しい拠点の「かたち」について話し合いました。各グループが新しい拠点の「キャッチコピー」を考え、想いを「かたち」にしました。

大師地区複合施設の検討

Aグループ

キャッチコピー
みんなくる来る
クルット大師



【主な発表内容】

- ・明るく、光が入る様なイメージ
- ・建物周りにスロープを設置し1・2階どちらからも入れる
- ・公園からもアクセスしやすく
- ・まちのリビングを中心にその他のスペースがつながる空間
- ・屋上の庭園を交流の場にする

【他グループからの主な感想】

- ・建物のまわりをスロープにする発想はユニークで入口線がとてもしよう
- ・屋上にみんなで使える自由なスペースがあると新しい活動がうまれそう。

田島地区複合施設の検討

Dグループ

キャッチコピー
地域のショー
ウィンドウ田島



【主な発表内容】

- ・この施設に來れば地域の情報が分かり、色々な相談もできる
- ・コンシェルジュのいる施設
- ・子ども高齢者と一緒に過ごせる、各ゾーンを緩やかに分ける
- ・屋上は広場や家庭菜園ができてソーラーパネルも設ける

【他グループからの主な感想】

- ・地域の情報がなんでもわかる場所にしようというアイデアはとても良い
- ・コンシェルジュがいたり相談ができることは安心につながる
- ・ソーラーパネル設置など環境に配慮されている

Bグループ

キャッチコピー
安心アクセス
の憩いの場



【主な発表内容】

- ・車と歩行者、自転車のアクセスを分ける
- ・2階を張り出して駐車場の屋根として活用
- ・施設の2階と公園をつなぐスロープを設置
- ・洪水対策で防災倉庫を3階に設置

【他グループからの主な感想】

- ・2階の張り出しが屋根になるアイデアは雨の日も駐車場から濡れずに施設に入れるので良い
- ・スロープを設置することで道路を渡らないで安全に施設と公園を行き来できて良い

Eグループ

キャッチコピー
誰もがとどい多世代
交流が実現できる場



【主な発表内容】

- ・建物の正面から入れるように駐輪場を設置
- ・子どもと高齢者が一緒に過ごせる場所を1階に集約、2階の会議室は学習もできる場所に
- ・外部から建物内の活動が見えるように工夫する

【他グループからの主な感想】

- ・多世代交流できる場所があり1階と2階の役割分担が明確になっていて良い
- ・道路側から建物内で何をしているか見えるのはおもしろい

Cグループ

キャッチコピー
ホットふらっと



【主な発表内容】

- ・施設へのアクセスのしやすさを考慮して駐車場、駐輪場を配置
- ・1階は主に子どもが使う活動的な空間、2階は主に高齢者が使う落ち着いた空間に
- ・川崎大師のだるまをイメージした地域性のある建物デザイン

【他グループからの主な感想】

- ・駐輪場を複数所に設置することや車での入りやすさの配慮など、どの地域から来てもアクセスしやすい
- ・だるまをイメージしたデザインは地域のシンボルになりそう、おもしろい

職員グループ

キャッチコピー
大家族のリビング



【主な発表内容】

- ・1から3階まで吹き抜けを考慮して、外からは建物内で何をやっているかわかる
- ・1階は活動的な空間、2階は建物全体のリビングのような空間、3階は落ち着いた空間
- ・屋上で地域交流

【他グループからの主な感想】

- ・吹き抜けになっていることでそれぞれの活動が感じられる
- ・2階リビングは想像するだけで楽しそう、行きたくなる
- ・市民の活動を「市の職員もいっしょに」という川崎の考え方が大好き

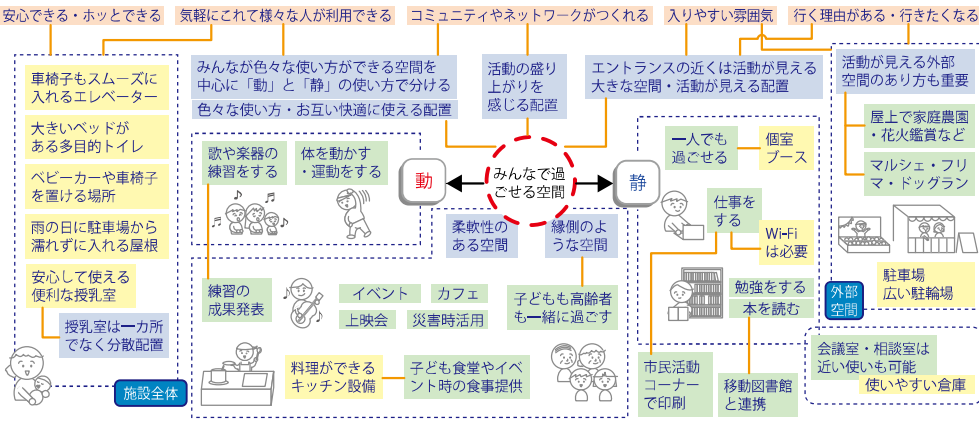
第1回 9月3日（土）新しい拠点の使い方を考えよう！

新しい拠点では、「誰が・どの部屋を・どのように使うか」、「どのような空間・どのような雰囲気になりたいか」を話し合いました。

みんなが集まる空間でしたいこと	体を動かせる空間でしたいこと	音が出せる空間でしたいこと	静かな空間でしたいこと	こんな拠点に なったらいいな	こんな設備が あったらいいな
<ul style="list-style-type: none"> ・触れ合いの空間 ・子どもが中心 ・家族が集まる ・気軽に集まる ・本の読み聞かせ ・子どもと高齢者の交流 ・サークル活動 ・料理教室、子ども食堂など 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラスポーツ ・バドミントン ・バスケット ・卓球 ・フラダンス ・リトミック運動 ・筋トレ ・盆踊り ・空手 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の練習 ・バンド活動 ・コーラスの練習 ・太鼓の練習 ・合唱や合奏 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会や子ども会の会議 ・会議室の平日利用 ・早期に会議室で朝活 ・ママ友同士でゆっくりおはなし ・読書 ・DVDの視聴 ・囲碁、将棋 ・軽飲食、お茶会 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の拠点 ・フリマや季節のイベントができる ・オープンカフェがある ・コンシェルジュ（案内人）がいる ・野菜作りができる ・移動図書館が来る ・屋上を活用する ・広い駐輪場がある ・地域の情報発信 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチン ・パパも使える授乳室 ・パソコン ・タブレット ・フリーWi-Fi ・上映会の機器 ・テレビ ・ストレッチ用具 ・ピアノ など

第2回 10月1日（土）新しい拠点の機能のつながりを考えよう！

新しい拠点を有効に使うために、どのような部屋の配置が望ましいか、活動や過ごし方の特徴・つながりを考えて話し合いました。（ ：施設全体の考え方 ：空間・配置 ：設備 ：活動・過ごし方・使い方）



ありがとうございました！
みなさんの想いを
「かたち」にしていきたいと思います

新しい拠点の整備や運営を行う
事業者にも、みなさんからいただいた
意見を伝えていきます。

